

2016年10月25日

報道関係各位

第14回 JCF 学生映画祭実行委員会
実行委員長 高 秀欄



ワオ・コーポレーション presents 第14回 JCF 学生映画祭
コンペティション2部門
＜WAO 10 MINUTES MOVIE AWARD＞＜学生映画アワード＞
各部門で入賞作品が決定！

拝啓 時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は当映画祭に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

JCF学生映画祭は、＜次代を担う映画監督の発掘と育成！＞をテーマに、第1回JCF学生映画祭を開催して以来、「学生映画の甲子園」として多くの才能を輩出して参りました。

本年は、JCF学生映画祭として初めて関西で開催いたしております。コンペティションプログラムにおいて、2部門＜WAO 10 MINUTES MOVIE AWARD＞＜学生映画アワード＞には、全国から多数応募を頂き、審査の結果、各部門の入賞全16作品が決定いたしましたので、お知らせ致します。

また、各部門の入賞16作品は、本年11月25日（金）、11月26日（土）に開催される第14回JCF学生映画祭の作品上映プログラムで、11月25日（金）に、京都会場（京都市・西陣IT路地）で、＜学生映画アワード＞入賞5作品の披露上映、11月26日（土）に大阪会場（大阪市・心斎橋SUNHALL）で＜WAO 10 MINUTES MOVIE AWARD＞の入賞11作品を披露上映いたします。また、11月26日（土）には、大阪会場において、各部門のグランプリの発表と表彰式を予定しております。

各受賞の学生監督の皆様、おめでとうございます。また、ご応募頂いた学生監督の皆様には、深くお礼申し上げます。

敬具

■ワオ・コーポレーション presents 第14回 JCF 学生映画祭 入賞作品

< 1 > WAO 10 MINUTES MOVIE AWARD 【入賞 11 作品】

○井上 光一(創価大学4年) 作品名「君と、」

ストーリー：大切な人を失った時、どうするか。病気の彼女との恋愛を描く。



○榎本 博和(同志社大学4年) 作品名「記念日の贈り物」「一期一会」

ストーリー：「記念日の贈り物」

愛し合う2人、夫は妻に首飾りをプレゼントすることに決めた。

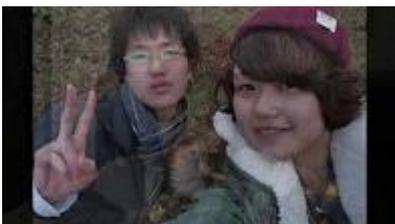
ストーリー：「一期一会」

大都会でひよんなきっかけから生まれる出会い。



○大室 昌也(北星学園大学4年) 作品名「アニバーサリー」

ストーリー：札幌で一人暮らしをしている大学生、秋穂。彼女は一年に一度だけ、故郷の小樽に帰ってくる。久しぶりの父に再会し、何気ない会話を楽しむ秋穂。別れ際、父と来年も会えるかどうかはわからなかった。



○栗原 翔(京都造形芸術大学3年) 作品名「町の匂い」

ストーリー：自転車の鍵穴が壊れてしまった男子高生。修理しに自転車屋へ向かうため、自転車を押しての下校途中、普段は出会うはずのなかった人と関わっていく。



○小池 茅(早稲田大学4年) 作品名「心に穴が空いちゃって」

ストーリー：ある日、気になったので覗いてみたら、やっぱり穴が空いていた。心に穴が空いていた。穴男とヤングトリオの交流を描いた暗黒舞踏系ダンスムービー。



○小林 令奈(慶應義塾大学2年) 作品名「キミと隣のボクへ」

ストーリー：ゴミ山に苦しめられるパヤタスの子供たち。貧困によって教育を十分に受けることができない子供たち。撮影したファインダー越しに映る世界を見せるドキュメンタリー。



○中川 寛崇(城西国際大学大学院2年)作品名「カエルのうた」

ストーリー：カエルを探す物語。



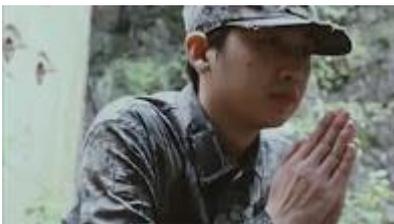
○長尾 淳史(立命館大学4年) 作品名「マインドギア」

ストーリー：大学生・宗太郎と夢を司る「漠」が記憶という非現実の世界を巡る世界。



○平井 諒(日本大学4年) 作品名「いい湯だな」

ストーリー：他国からの侵攻が始まり、国が崩壊した日本。主人公のタケルはその数年前、大学生で留学生のリンと銭湯に行った。



○柳沢 毬絵(早稲田大学4年) 作品名「それでも」

ストーリー：どこにでもいる普通の女の子。彼女の秘密がだんだん明らかになってゆく。彼女は、それでも、、、。ところで「普通」ってなに？



< 2 > 学生映画部門 【入賞5作品】

○天野 友二郎(鳥取大学大学院) 作品名「灰色の青春」

ストーリー：過酷な青春時代を送る二人。肉体的にも精神的にも追い詰められる。彼氏がある計画を思いつくが、彼女にもある秘密があった。



○伊波 信之佑(琉球大学4年) 作品名「人間適定」

ストーリー：大人になるまでに軽犯罪を全く犯していない人は将来大罪を犯す予備軍として10年間監視され続ける法律があって、優等生がそれを回避するために仲間と軽犯罪を繰り返して犯罪予備軍数値を下げようとしていく。



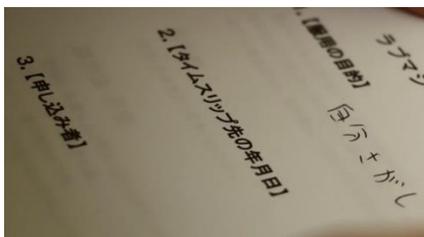
○江上 徹(立教大学卒) 作品名「パラレルマインド」

ストーリー：大学の卒業公演を控える学生に起こる心境を描く。



○土井 笑生(龍谷大学卒) 作品名「WILL」

ストーリー：自在に年月を行き来出来る日本が舞台。1995年、2000年、2015年の登場人物が複雑に絡み合う。



○渡邊 聡(九州大学) 作品名「限界突破応援団」

ストーリー：応援団による試合応援合戦。



※あいうえお順で紹介しております。

<第14回 JCF 学生映画祭> 開催概要>

- 名称 ワオ・コーポレーション presents 第14回 JCF 学生映画祭
- URL <http://www.jcf.jpn.com/>
- 開催目的 日本の将来を担う若手クリエイターの発掘・育成を目指すポリシーをそのままに、映像のチカラで日本を元気に活性化させることを目指します。
- 開催日 2016年11月25日(金)、26日(土)
- 開催場所 11月25日 京都西陣 IT 路地 (京都府京都市)
11月26日 心斎橋 SUNHAL L (大阪府大阪市)
- 主催 JCF 学生映画祭実行委員会
- 特別顧問 西澤 昭男(ワオ・コーポレーション株式会社代表取締役)
- 顧問 溝畑 宏(公益財団法人大阪観光局理事長)
- 実行委員長 高 秀蘭(映画プロデューサー)
- 実行委員 大和田 廣樹(映画プロデューサー、株式会社ブロードバンドタワー 取締役副社長)
- 実行委員 磯久 五郎(株式会社56 設計舎代表取締役)
- 実行委員 太田 雅人(ゲッティグループ代表、JCF 学生映画祭ファウンダー)
- 制作運営 JCF 学生映画祭運営事務局
- 協賛 株式会社ワオ・コーポレーション
- 後援 公益財団法人大阪観光局、ABC ライツビジネス、5L、CAMPUSNAVI.COM
- 協力 NEWWAVE、ドリームキッド、GX Overseas Limited.
- 行事内容

◎国内コンペティションプログラム

長編 学生映画アワード部門(入賞5作品を京都会場で11月25日に上映)

<WAO 10 MINUTES MOVIE AWARD>

短編 学生ショートムービーアワード部門（入賞作品 11 作品を大阪会場で 11 月 26 日に上映）

◎表彰式プログラム

◎特別プログラム

日中韓国際学生映画上映会（日本長編部門 GP 作品と中韓の学生映画監督の作品）

◎シネマフォーラムプログラム

◎レセプションパーティ（26 日表彰式終了後）

●入場料 無料（入退場自由）

<「JCF 学生映画祭」これまでの歩み>

JCF 学生映画祭は、1989 年当時の竹下内閣の<ふるさと創生資金>の 1 億円を活用した地域振興という目的の為に、夕張市が主催・開催していた「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭」（現在の同名の映画祭がありますが、主催形態が違います。）の 10 周年特別協賛企画として、1999 年に<学生映画の甲子園>を合言葉に、当時の 949 団体のクラブ・同好会・サークルが所属する日本サークル連盟（Japan Club・Circle Federation）が主催した<ゆうばり国際ファンタスティック映画祭 特別協賛企画 第 1 回 JCF 学生映画祭>の流れを組み、第 1 回から第 3 回までを夕張市で開催、第 4 回は沖縄県那覇市と共催でアジア部門も拡充し、受賞監督に新作映画を製作支援するオキナワコンテンツラボを実施しました。第 5 回目は初の東京開催で、東京お台場の温泉施設「大江戸温泉」内で「世界初！昼の上で映画祭」を開催、2010 年に LVMH（ルイヴィトン）映画祭で短編部門グランプリを受賞した月川翔君（当時成蹊大学在学）を輩出しました。第 6 回は愛知万博の公式プログラムとして、EXPOHALL で開催し、国際学生映画祭として世界各国の学生作品を集め世界のレベルを披露致しました。第 7 回は運営を完全に学生だけ行う形のフレームに移行し東京・上野の東京国立博物館で開催いたしました。その後、2007 年の夕張市の財政破綻の報を聞き、2007 年、2008 年とこの映画祭が生まれた夕張の地に恩返しをしようということで、夕張国際学生映画祭 2007・2008 を夕張で開催致しました。

財政破綻の影響で中止になった「ゆうばりファンタスティック映画祭」も、地元 NPO 法人の運営により復活を果たし、夕張での学生映画祭の 2 年間の活動の成果も残すことができました。2011 年には、鳥取県米子市にて第 10 回記念を開催。映画部門の他、アニメ部門、鳥取観光 CM アイデア部門や開催地の米子市でのアニメ・映画イベントをつなぐ、【米子クリエイティブブリッジフォーラム】や 10 回記念開催として歴代入賞監督で映画の第一線で活躍するを招いたフォーラムの実施致しました。2012 年も鳥取県米子市で映画部門、アニメ部門を開催し、特別企画として、米子市助成の【ヨナゴコレクション】ファッションショーを開催致しました。2013 年は、鳥取県米子市でクリエイティブイベントの【ヨナゴワンダー】に最終日として開催致しました。地域特性に合わせて映画部門、アニメ部門に加えてマンガ部門を新設開催致しました。2016 年(第 14 回)は、JCF 学生映画祭として初めて、関西・大阪で開催いたします。

■本件に関するお問い合わせ先

〒107-0062 東京都港区南青山 2 丁目 22 番 14 号 フォンテ青山 9 階
第 14 回 JCF 学生映画祭運営事務局
TEL. 03-5775-0666/FAX. 03-3582-0680

以上